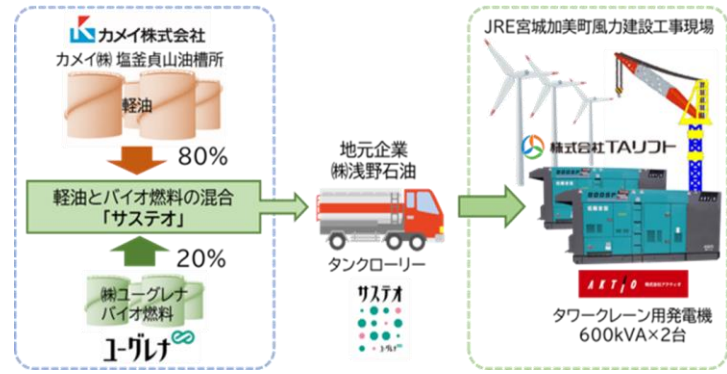
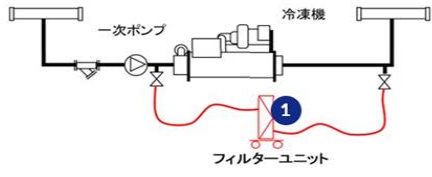
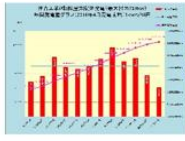


選考結果	会社名	活動テーマ名	活動内容	活動効果・結果	活動種別
参加賞	株式会社双葉資材	環境配慮・作業効率の短縮	①. 作業所（現場）作業員通勤車両を相乗り化することを推進した。 ②. 公共交通機関で通える作業員は積極的に利用することを推進した。 ③. 熱中症対策として全作業員に空調服及び冷感インナーシャツの支給を行った。 ④. 新型コロナウイルス＆インフルエンザ感染及び拡大予防のため全作業員世帯人数分の抗原検査キットの支給を行った。	①. 通勤車両削減によるCo2排出量削減 ②. 公共交通機関利用によるCo2削減に対する配慮 ③. 作業員の熱中症対策および暑さによる作業効率低下軽減効果。 ④. 新型コロナウイルス＆インフルエンザ感染拡大による作業員休業予防	気候変動対策、その他
参加賞	丸喜運輸株式会社	①環境保全団体への寄付、②周辺地域の清掃活動	①継続的な活動になりますが各作業所様から排出された産業廃棄物を弊社の中間処理施設へ搬入した際、廃棄物500kg毎に5円を北海道環境財団へ寄付する活動を行っております。 ②2020年頃から弊社機材センター前の道路清掃を冬季期間を除く月2回実施し地域の美化活動に積極的に取り組んでおります。	①4月～12月で111,476円の寄付を行いました。 ②4月～11月の活動で1400Lのゴミを回収しました。 別紙資料参照 G・¥共有ドライブ¥!!!イノベーション推進統轄部¥200、環境ソリューション部¥600、日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101、2023年度¥03、応募作品 ¥F02、丸喜運輸株式会社	気候変動対策、生物多様性の対応
参加賞	有限会社 古市工務店	環境配慮型製品の使用	香川県丸亀市に本社を置く、大倉工業株式会社の環境配慮型製品、木守を、型枠用合板として使用追加資料あり	型枠用合板として、使用して、廃材となった合板は、販売元の大倉工業へ、販売して、パネチクルボードの原料になり、好循環が生まれている。 別紙資料参照 G・¥共有ドライブ¥!!!イノベーション推進統轄部¥200、環境ソリューション部¥600、日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101、2023年度¥03、応募作品 ¥F02、有限会社 古市工務店	建設廃棄物の発生抑制
参加賞	長谷川工機株式会社	環境配慮型燃料KS-1導入による燃費の向上	自社所有の25tラフターにKS-1を投入、燃費の経過を確認中 ①関東支店購買部様より環境配慮型燃料の紹介があったのがきっかけ。 環境に配慮しながら燃費の向上も図れるとの事で、2021年6月より保有する25tラフター1台に試験的に投入、現在に至る。ここで問題なのが「ラフタークレーンが1か所の作業所に長期間留め置きとなるケースが無い」為に、費用対効果の分析は難しいです。現状はK-S1紹介時の実績データに基づいき、「少しでも環境に配慮出来れば」程度の取組です。2023年4月からは所有するトレーラー1台にも投入を開始、検証中です。 ②高工の現場通勤車両をハイブリッド車に入替えた。以前の車両がℓ/7km走行に対して入替後はℓ/18kmと倍以上の燃費向上となった。	2022年1年間（281日稼働/14,705ℓ使用）→2023年（293日稼働/13,545ℓ使用） ①2020年（KS-1使用前）1年間：258日稼働/燃料使用量が13,139ℓ（1日平均：50.93ℓ使用） 2021年6月KS-1使用開始- 12月：173.5日稼働/8,875ℓ（1日平均：51.15ℓ使用） 2022年1年間：281日稼働/14,705ℓ（1日平均：52.33ℓ使用） 2023年1年間：293日稼働/13,545ℓ（1日平均：46.23ℓ使用） ②既存で使用していた車両（ℓ/7km走行）に対して入替後の車両（ℓ/18km走行）となった	気候変動対策
参加賞	小野田ケミコ株式会社	熱中症対策	暑さ対策として現場内に休憩所を設置。飲み物の配布を行った。 また、プラントヤードにはスポットクーラーを設置。 休憩所はエアコンを常に稼働。飲み物は冷蔵庫に入れ制限なく配布。 配布飲料：OS-1・麦茶・イオンウォーター	・遠い休憩所まで飲み物を取りに行く必要がなくなった ・スポットクーラーにより、プラントでの作業が快適になった ・購入、設置の成果もあり熱中症患者0名	気候変動対策
参加賞	株式会社 滝沢重機興業	公共交通機関活用によるCO2削減（ラフタークレーン回送数削減）	公共交通機関活用により ラフタークレーン回送数を減らすことでCO2の排出量を削減する	二酸化炭素の排出削減	気候変動対策
参加賞	遠藤硝子	エコアクション21取り組みによる、現場及び社内での環境保全活動の推進	◆季節季節単位の空調設定温度の厳守、クールビズ/ウォームビズの推進、無人部屋の電源OFF ◆前日までの相乗り乗車の検討を含めた配車予定の徹底	CO2排出量が、基準年度比-5%達成 別紙資料参照 G・¥共有ドライブ¥!!!イノベーション推進統轄部¥200、環境ソリューション部¥600、日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101、2023年度¥03、応募作品 ¥F07、遠藤硝子	気候変動対策
参加賞	株式会社 宮前建設	環境に配慮した再生資源活動と資源の選択	宮前建設では現場や加工場から出る資材（ベニヤ、桧木、パネル）を如何に再生資源として再利用できるのか、如何に産廃処理物を減らせるのかを2年間に渡って検証いたしました。 まず、取り掛かったのが再生資源としての活用です これは提携した処理業者と打合せを行いパネル、合板、桧木をウッドチップに変え再利用できないか？と話し合い、産廃処理されるものを仕分けして持ち込むことにより自社の労務削減と産廃削減をこの2年間で検証を行いました もう一つは、ビットスラブに使用する合板を多種類使用を試みて1度の使用で産廃となっていた合板を何とかできないか検証しました	結果として今まで特に労務を掛け木パネル解体し産廃にだしていた資材を労務を掛けず処理業者に出す事で（加工切れ端の桧木や合板も含む）ウッドチップへと変える事が出来ました 2023年の1年間で114,510kg破砕処理を行いウッドチップに変えることが出来ました 労務面でも小分けにする事なく運搬労務と運搬ガソリン代だけで処理する事が出来てコストカット出来ました。 また一度の使用で廃棄していたビットスラブに使用する合板も国産の桧合板を使用すると転用が出来る事が分かり現在古い物で8回再転用しており期間にして16カ月分今まで8回新しい物や使用済み合板を廃棄していたのに対して廃棄は100㎡あたり端材の5%ほどに収める事が出来ました。 別紙資料参照 G・¥共有ドライブ¥!!!イノベーション推進統轄部¥200、環境ソリューション部¥600、日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101、2023年度¥03、応募作品 ¥F08、宮前建設	気候変動対策、建設廃棄物の発生抑制
参加賞	大久保硝子株式会社	冬場の暖房を快適に、かつ省エネ化	事業所の暖房設備として、災害時にも活用できる電気未使用の灯油ストーブを設置。 エアコン（暖房）の使用量を減らし、電力使用量を削減した。 主に期間内の1月・2月・3月・11月・12月に活用。 	灯油タンク10Lの給油にかかるおおよその費用：2,000円 1か月あたりの給油回数：2回 灯油ストーブの1か月あたりの費用：4,000円 エアコンで暖房を使用した場合の1か月あたりの費用：12,000円 これらより、1か月8,000円、年間40,000円の暖房使用料の削減に至った。 また従業員からは、匂いの問題はあるものの、エアコンよりも暖かいと好評であったので、次年も継続予定。	気候変動対策
参加賞	平岩塗装株式会社	排ガスの減少。熱中症対策。	・工事管理者の社有車をハイブリット車に順次変更している。 20台中7台を変更済み。 ・弊社の現場に従事している社員・工員及び 弊社の仕事しかしていない専属の協力会社作業員全員に空調服を支給している。		気候変動対策
参加賞	東洋シャッター株式会社	①日般的なドアと同じ仕様の止水ドアと、遮音しながら常時換気可能な換気防音ドアの開発 ②当社製作工場で献血活動及び環境美化活動の実施	①フェーズフリー協会の認証を得た商品を揃えています。 フェーズフリーとは、いつも（日常的）ともしも（非常時）という2つの時間的なフェーズをフリーにする考え方。 フェーズフリーの概念に沿って以下の商品開発をおこない、PHASE FREE AWARD 2023のBRONZEを受賞致しました。 製品名：TSウォータータイト（通常ハンドル止水ドア） ※レバーハンドル仕様 ※日常時は、通常ドアと同じ使い勝手 ※非日常時（水害時）は、追加操作なしに止水を実現 ※詳細は別添チラシ参照願います。 ※本製品の他にも環境に配慮した製品を販売又は販売予定をしております。 ・TSベンチタイト（換気防音ドア） 遮音しながら常時換気もできる扉 ・避難可能な止水ドアも今後発売予定（いずれの商品、別添参照願います。） ②当社製作工場（つくば工場）にて、筑波東部工業団地連絡協議会の会員企業として献血活動と工業団地敷地内環境美化運動に参加致しました。 別紙資料参照 G・¥共有ドライブ¥!!!イノベーション推進統轄部¥200、環境ソリューション部¥600、日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101、2023年度¥03、応募作品 ¥F11、東洋シャッター	・PHASE FREE AWARD 2023のBRONZEを受賞致しました。 ・継続的な環境美化運動の実施	気候変動対策、その他
参加賞	(株) 共栄工業	(株) 共栄工業環境配慮と生産性（資材関係）の取り組み	1) 南洋材に代わる材料の検討 ①システム型枠使用による転用効率UPの検討（H23～現在） ②ベニヤ内部資材をユーカリ材の物に変更（一部）（R1～現在） 2) 社内環境にての配慮 ①社内営業車をハイブリット車に変更（H15～現在）前年2台 ②事務所室内天井ライトをLEDに変更 ③資材置場フォークリフトをディーゼル車から電気車に変更（H28～現在）前年1台 ④社内共有PCによる紙ベースの削減（H25～現在） 3) リサイクルによるCo2削減への取り組み ①バイオマス発電施設へ木材廃棄材を依頼（H31～現在）平均委託量（月）24,000kg（受け入れ量の制限あり） ②加工余り材の転用効率の検討（H21～現在）	効果に関しては継続中なので具体的な数字は現在わからないです。	気候変動対策、建設廃棄物の発生抑制

選考結果	会社名	活動テーマ名	活動内容	活動効果・結果	活動種別
参加賞	ミネ工業株式会社	解体工事業の環境経営の実践	・環境マネジメントシステムとして、エコアクション21参画 10年以上継続中 ・持続可能な社会の実現の取組として、横浜市が取り組む Y-SDGsのstandardを取得（令和4年3月より認証） ・天然資源への配慮として、かながわトラストみどり財団への募金で緑他保全支援をして CO2吸収 ・バックホウの燃料、軽油の代替燃料として、天然ガスから精製された液体燃料GTLを積極的利用し、CO2排出量削減 ・熱中症対策として、夏用ヘルメット採用（ミドリ安全）	・2023年度 GTL利用 10,844L 2.8tCO2削減 ・植樹寄付活動による緑地保全支援 CO2吸収	気候変動対策、建設廃棄物の発生抑制
参加賞	株式会社翔大鋼業	書類のペーパーレス化	①2023年に社内サーバーを設置したことにより、今まで紙にて保存していた書類を、データ保存することとした。 ②書類の確認も今までは印刷していたが、サーバーで共有することにより印刷枚数の抑制につながった。 ③上記の活動によりプリンタトナーの消費量も減少した。	①前年と比較紙の消費量が15%減少し、トナーの消費量も10%程度減少した。 ②サーバーにてデータを共有することが可能となり、業務効率の向上につながった。	建設廃棄物の発生抑制
参加賞	開成鉄筋(株)	環境に優しい会社	①代理人の社用車を全台ハイブリッド車のプリウスに替えた。 ②成田工場を自家発電出来るようにした。 ③作業所への通勤車両は相乗りさせている。	①CO2排出量削減②再生可能エネルギーの使用による	気候変動対策
参加賞	アイカテックエンジニアリング株式会社	暑さ対策で空調服購入	近年、温暖化現象により気温が5月ころより上がっており、対策として各社員に「空調服」を購入し着用させています。 工事部4人全て着用させています。	現場では体調が悪くなる事が無くなりました。	気候変動対策
参加賞	(株)金子組	CO2削減（K-S1）の利用	燃費向上の効率がある添加剤「KS-1（戸田建設推奨）」を使用。	燃費向上の効果確認をしています。	気候変動対策
参加賞	高津戸建設工業(株)	CO2削減	燃費向上の効果が上がる添加剤「KS-1(戸田建設推奨)」を使用	燃費向上の効果確認をしています。	気候変動対策
参加賞	大中企業(株)	CO2削減	燃費向上の効果確認をしています。	9.484ℓ使用	気候変動対策
参加賞	杉崎基礎(株)	CO2削減	燃費向上の効果が ある添加剤「KS-1（戸田建設推奨）」を使用	燃費向上の効果確認をしています。	気候変動対策
参加賞	岩谷テクノ株式会社	熱中症防止対策を共栄会にて推進	熱中症防止及び作業効率向上のための取り組み	実施率80％以上。前年度関東地区での災害発生は0件	気候変動対策
参加賞	株式会社石野内装	通勤車両の相乗り及び空調服の導入	作業所への通勤車両を相乗りする事により、車面を減少させた。宇都宮市内～常総市（作業所）片道約60km 暑さ対策で空調服を購入し、作業員に配付、着用した	作業所への通勤車両を1日平均3台減少させた（工事期間中） 空調服を21着購入。当社での熱中症者（作業員）が1人も出なかった。	気候変動対策
参加賞	株式会社斎藤塗工店	廃食油来のバイオ潤滑油の実証	株式会社斎藤塗工店の新規事業として、バイオ潤滑油によるCO2削減の実施 経済産業省から、新しい脱炭素方法論として認証 国交省のNETIS等に登録を目指し、今後は建機等に展開していきたい	 2. 新規方法論の策定 バイオ潤滑油の使用 (WA-003) ➤ 工業潤滑油としてバイオ潤滑油を使用するとジョークレジットが創出できます！ バイオ潤滑油を使用すると、化石由来潤滑油と同等の量のCO2が削減されます。 ベースライン排出量 × 21車体油(バイオ潤滑油使用量 ÷ バイオ潤滑油のバイオマス由来成分割合 × ベースライン潤滑油の化石由来潤滑油比率 × 後継ベースライン潤滑油の焼却・原燃料に使用される割合 × 炭化焼却のCO2排出係数 (P)実施後排出量=0) ベースライン潤滑油は、化石由来潤滑油に限定します。新機設備でバイオ潤滑油を使用する場合、ベースラインの化石由来潤滑油の使用割合がゼロになります。 使用済みのベースライン潤滑油のうち、再生利用される分を除き、焼却または原燃料使用される割合は50％となります。	その他
参加賞	株式会社木村	クリーンで働きやすい建設業	1.見られる仕事を意識して、作業服の定期交換。 2.ペットボトル持込時に、防水用塗料との誤飲を防止するために、専用の袋に入れるようにしています。 3.ゴーグル付のヘルメットへ交換を実施。 4.社内に緑化を置くようにして、働きやすさを感じられるオフィスに徐々に移していく予定。	イメージが明るくなりつつあります。	その他
参加賞	有限会社北松工業	熱中症防止対策	時期： 6月中頃～9月下旬 ※毎月2度執り行われる定例会議にて協力業者を含め活動時期の取決めを行う 主な内容： 毎朝、事務所からボカリスエット(4ℓ)水筒、熱中症防止キット(小型保冷パック)を各グループに配布(協力業者も含む) (熱中症防止キットの内容) OS-1(ペットボトル500cc)×2本、OS-1(ゼリー200g)×2パック、熱中防止飴×10個くらい タブソルト、熱さまし用シート×2組 固形保冷剤×2(キット内保冷用として) 配布割合： 基本3人一組を目安として配布 ※前日の作業内容打ち合わせで配布料調整(増量)する場合もある 活動の目的として： 規模や工期の長い作業所では、元請さまからの配慮による設備等が整っているが、民間の作業所(住宅)など休憩施設のないところの作業所も踏まえ熱中症の防止対策になりうる。また活動自体を会社が管理することによっての各班、各自の熱中症に対する危機意識も保たれる為	活動前は空調服の未着用者も多くいたこともあり重度まではいかないが、熱中症にかかる作業員もみうけられたが、活動して3年がたち2023年は熱中症の疑いがあるものが少数いたものの、効果はあると考えられます。	気候変動対策
参加賞	株式会社 弘電社	CO2排出の削減	①i-PADのスパイダープラス活用による現場チェックの試用【前回項目継続】 ・期待効果：紙での社員間の引継が減り印刷物削減 ・実施細目：照度測定利用 現場チェック利用 ②重量物搬入でタワークレーンの積極的利用【前回項目継続】 ・期待効果：ラフタークレーン等の使用を削減し、重機往復及び揚重燃料消費分を削減 ・実施細目：受変電の楊重(見込60t以上級/1回の燃料節約) ③社内の部門毎のパトロールを極力同一日程化する【新設項目】 ・期待効果：現場担当者の対応時間が減少の方向となるので、微々たるものだが現場事務所のエネルギーの削減となる。 ・実施細目：工事部門管理者のパトロールと品質部門のパトロールを組み合わせる。	①i-PADのスパイダープラス活用による現場チェックの試用店社スタッフによる支援の為、現場の壁面を店社でも印刷するなど相互で紙が発生し紙の削減はなかったと思われる。 今後、作業方法を画面閲覧化に慣れていく必要あり、照度の印刷が見やすい測定点の大きさにならず調整の為、試し印刷などがあり、紙の削減まで至っていないと思います。⇒今後、システムの特性を考慮し作業していくと同時にスパイダー側へも不便点を指摘する。 ②重量物搬入でタワークレーンの積極的利用<実施結果> 現場の都合等でタワークレーン利用が思うようにならなかった事例もあり、引き続き継続していこい。	気候変動対策

選考結果	会社名	活動テーマ名	活動内容	活動効果・結果	活動種別
参加賞	(有)増永化工		①シーリング材の梱包容器を、従来のブリキ缶からプラスチック容器の物に変更し、使用施工後には持ち帰り、業者へ連絡しリサイクルをしている。 ②施工担当の社用車を、通常のガソリン車からハイブリッド車に買い換えた。		建設廃棄物発生 の抑制
参加賞	(株)イワサ・アンド・エムズ	① 〇業所への通勤車両の減少 ② 〇暑さ対策	① 原則として現場への通勤は公共交通機関を利用する様に指導している。 ② 〇〇調服他暑さ対策グッズを月に1度開催している協議会にて紹介している。	① 〇〇むを得ず、材料等で車両を利用する以外は公共交通機関で通勤している。 ② 〇〇暑さ対策グッズ購入希望者には当社で注文を取りまとめて配布している	気候変動対策・その他
参加賞	ダイダン(株)東北支店	ダイダンの森育成活動	宮城県が実施している「みやぎの里山林協働再生支援事業」の事業趣旨に基づき、ダイダンの社員と家族を中心に協力団体等との協働によって、水資源確保、地球温暖化防止、国土の保全および生物多様性やCO2の吸収等、機能性の高い森林の整備や里山の森づくり活動を行い、サステナブルな社会の実現につながる森林を次世代に健全な姿で引き継ぐために、森林保全活動に取り組む。	2023年5月27日に開所式を行い社員15名で植樹、刈払、除伐作業を行った。 5か年計画で森を整備していく。	気候変動対策・生物多様性
参加賞	株式会社つきの	太陽光発電利用の自己消費量 空調服着用、暑さ対策	別紙資料参照 G・¥共有ドライブ¥!!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥10_つきの	太陽光発電利用により、全体の消費量(11,539kwh)の内、約半分(5,659kwh)を自己消費で賄えました。 空調服 社員30名全員着用しております。不足分と再購入を7着しました。	その他
参加賞	志村工業株式会社	昨年の続きで電気使用量の見直し	昨年に続き電気使用量並びに料金の詳細を活動内容として報告致します 電気使用量(2023年4月～2024年2月まで) 昨年 221,805.59(MJ) 今年 201,443.85(MJ) 削減量20,361.74(MJ) 電気使用料金(同上) 昨年 1,089,186円 今年 891,664円 削減量197,522円 ※使用量は約1か月分抑えることができ、料金は約2ヶ月分の料金を抑えることができました。	結果として、現状は節約することに成功していますが、電気契約の見直しで終わることなく、人為的にも行動による節約で電気使用を抑えていきます。 別紙資料参照 “G・¥共有ドライブ¥!!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥11_志村工業.pdf”	気候変動対策
参加賞	小松ウオール工業株式会社	カーボンニュートラルの推進	①エコレールマーク認定 当社は平成18年より継続して国土交通省からエコレールマークの認定を受けています。 ※エコレールマーク制度は、地球環境に優しい鉄道貨物輸送を一定以上利用している商品または企業に、「エコレールマーク」の認定を行い、流通過程において鉄道によるモーダルシフトによって企業が地球環境に貢献していることを表しています。 認定の基準 ・500km以上の陸上貨物輸送のうち15%以上鉄道を利用している企業 ・数量で年間1万5千トン以上または、数量×距離で年間1,500万トンキロ以上の輸送に鉄道を利用している企業 ②カーボンゼロ電力への切り替え 当社では2023年4月より本社及び工場における利用電力を北陸電力株式会社の提供する「グリーン特約(かがやきGREEN)」に切り替え、CO2排出量ゼロの電力供給を受けています。 ③社有車のハイブリット化 当社では2023年度より社有車のハイブリット化を拡大させています。社有車数382台に対してハイブリット車数112台、20台増(前年92台) 別紙資料参照 “G・¥共有ドライブ¥!!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥12_小松ウオール¥詳細資料.xlsx”	①トラックを使用して輸送した場合に比べてCO2排出量を約1,190t削減。 ②今回の利用電力の切り替えにより、年間約2,700tのCO2排出量を削減 ③20台の社有車をハイブリット車に変更することで年間約25tのCO2排出量を削減 合計約3,915tのCO2排出量を削減	気候変動対策
参加賞	株式会社 ハットリ	省エネ	① 〇〇った塗料の製造年月日、種類、色等の適合を確認し問題がなければ、監理者の了解を貰い下塗りに利用する。(産業廃棄物抑制) ② 〇〇事務用の照明器具をハロゲンからLEDに変えた。(安全、省エネ) ③ 〇〇〇〇の壁、屋根を遮熱塗料で塗り替えた。エアコンの設定温度を従来より1度上げ、稼働時間も短くできた。(気候変動) ④ 〇〇社用車更新時に順次ハイブリッド車に変更している、(気候変動)	③ 〇〇田一タは取っていないが確実に室温がさがった。	気候変動対策・建設廃棄物発生 の抑制
参加賞	株式会社 きんそく	通勤車両の相乗り・暑さ対策で空調服購入・会社周辺の環境整備	①通勤車両の相乗り:当社は工事現場での測量を基本業務としており、原則として2人1組で作業しています、そして種々の測量器械を運搬、使用するため、車両による現場通勤が必要となります。社員2人がそれぞれの車両で現場に赴く事はもちろん可能で、その方が本人達の時間短縮になるのですが、一旦会社に集合し、1台の車両に相乗りする事により 車両数の削減、消費燃料削減による環境浄化、交通事故発生率の低減・長距離の運転手の交替等が可能となっており、多くのメリットがあります ②暑さ対策で空調服購入:現場で作業する社員全員に空調服を支給している。夏期において、現場で作業する全社員が着用している。社員の評価は・高価(約2万円/着)なので支給され嬉しかった。・炎天下での作業効率がアップした・バッテリー2個必要で少し重い ③会社周辺の環境整備:会社組織として2年前に環境整備課を新設しました。その職務として・社内・社屋・倉庫の整備・整理の指導及び補修・補強・植栽の維持管理:本社及び研究所(本社より2KMの地)の玄関口に鉢植や寄せ植等花や緑を配置している・研究所では敷地面積が1,000㎡以上であり、緑化法に基づき高麗芝を張り、維持・管理している。又近隣からの除草剤流入防止のための土壌改良も実施している	空調服累計購入数:148着 熱中症になりやすい体質の社員2名がこれを着用後症状なし。環境整備に関しては現場から会社に帰った際の社員の安らぎの一助となっている。来客者の評価も良い。	気候変動対策・その他
参加賞	株式会社 サンユー		2023年度夏季において稼働現場単位での「ボカリスエツ」の配付を実施 新型の空調服を配付	2023年度中の熱中症発症者数「0」を達成し、一定の効果があつたと推察される	その他
参加賞	株式会社榊組	電気の「見える化」「理解(わかる化)」による、高圧電力の使用電力量削減	1. 高圧受変電設備に常時監視システムを設置して、電力の使用情報を収集。 収集した情報をスマートメーターならびにスマートクロック※で表示をして、電力の使用状況を確認。 目標デマンド値(30分間の電力量)が超えそうなときは、スマートクロックから光と音声で注意喚起されるので、エアコンの温度調整や照明の消灯をこまめに行い、節電につなげていく。 2. 社内照明のLED化 ※別途資料参照 G・¥共有ドライブ¥!!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥16_(株)榊組	前年度に比べ、年間使用電力量が4,931kwh※削減され、デマンド値も2023年2月以降、目標(2023年)の16kwを超えない日が続いている。 これにより令和6年1月分の請求から、契約電力が17kwから16kwに変更※となり、基本料金を下げることができた。2024年はデマンド値の目標を15kwに設定して、さらなる節電につなげていく。 ※・別紙 資料3を参照 ※・別紙 資料4・5を参照 別紙資料参照 G・¥共有ドライブ¥!!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会¥■利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥16_(株)榊組	気候変動対策
参加賞	ヒロセ(株)	SMW工事におけるCO2削減工法の採用	SMW 施工時のCO2 および汚泥の発生量を削減 するため、ECO-MW工法を取り入れている。 SMWからの 変更に際して、以下の点で対象となる現場に対して、提案を行っている。 ①ECO-MW削の購入単価は効果(高価?)である が泥土削減金額と対比してゼロ以下となる ②先行削孔がないこと(先行削孔のセメントに反応して薬材料が増、上記メリットが減 少のため) 対象土 がローム、凝灰質粘土当 粘性が特に高い土質でないこと(効果が出にくいため) 以上のことを考慮して提案を行っている。 提案を行って も、作業所ではコストのみに注目する傾向あり、採用まで至らないケースが少なくない、以前は汚泥が施工業者もちであったため採用されることが多かった。 また、工法変更で店社への説明が面倒などの理由もある ECO-MW工法 http://www.eco-mw.jp/	直近 での戸田建設施工実績はない。 対象現場もなかったため、提案も行われてい ない。	気候変動対策・建設廃棄物発生 の抑制
参加賞	双葉資材	環境配慮・作業効率の短縮	① 作業所(現場)作業員通勤車両を相乗り化することを推進した。 ② 公共交通機関で通える作業員は積極的に利用することを推進した。 ③ 熱中症対策として全作業員に空調服及び冷感インナーシャツの支給を行った。 ④ 新型コロナウイルス&インフルエンザ感染及び拡大予防のため全作業員世帯人数分の抗原検査キットの支給を行った。	① 通勤車両削減によるCo2排出量削減 ② 公共交通機関利用によるCo2削減に対する配慮 ③ 作業員の熱中症対策および暑さによる作業効率低下軽減効果。 ④ 新型コロナウイルス&インフルエンザ感染拡大による作業員休業予防	気候変動対策・その他

選考結果	会社名	活動テーマ名	活動内容	活動効果・結果	活動種別
参加賞	(株)角藤	現場で排出される化石燃料由来のCO ₂ を抑制する工法の確立	○品質・性能を保ったままScope1に寄与する工法を確立する。 ※Scope1については、添付資料をご参照ください。 エネルギーを化石燃料から電気に転換する前に、そもそも使用するエネルギーを削減する必要があると考える。そこで地中熱交換器設置工事における技術提案を行った。内容については以下の通り。 技術提案 従来方式：掘削径6インチ（円型Uチューブ25A） 提案方式：掘削径4インチ（扁平形Uチューブ25A相当） ○施工及びCO ₂ 排出量の比較 「施工条件：ポアホール75m×18本設置」 ●当初計画時(掘削径6インチの場合) 施工日数 54日 燃料使用料(軽油) 4,050ℓ 産廃排出量 63㎡ (掘削機、揚重機、プラント機材) (建設汚泥) 充填材(珪砂)投入量 56.7t CO ₂ 排出量＝10.6t-CO ₂ ●技術提案後(掘削径4インチの場合) 施工日数 36日 燃料使用量(軽油) 2,700ℓ 産廃排出量 36㎡ (掘削機、揚重機、プラント機材) (建設汚泥) 充填材(珪砂)投入量 32.4t CO ₂ 排出量＝7.1t-CO ₂	技術提案によってCO ₂ 排出量3.5t-CO ₂ 削減。充填材(1号珪砂)24.3t削減。建設汚泥搬出量27㎡削減。 これに伴い資材、建設汚泥の運搬に係るCO ₂ 排出量の削減も実現した。 建設現場にも脱炭素化の波が押し寄せることが予想される中で大きく貢献できる技術であると確認している。 別紙資料参照 G※共有ドライブ※!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会※利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥19_角藤	
参加賞	東光電気(株)	風力発電建設工事現場において、2023年4月からタワークレーン用発電機燃料に次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」を採用	① 風力発電建設工事現場において、2023年4月からタワークレーン用発電機燃料に次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」を採用しました。利用量は17,816ℓです。 	CO2排出削減量 9.2 t-CO2(2023年4月～2023年10月) 別紙資料参照 G※共有ドライブ※!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会※利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥20_東光電気	その他
参加賞	(株)日興社	施工上使用する有機溶剤の成分毎数値把握(実態把握)とそれを元に使用量削減を図る手段の模索	2010年9月に認証取得した「エコアクション21」の管理項目の中で、業務上必ず使用せざるを得ない有機溶剤について、施工する工事量によって使用量が大きく左右されるが、以下の点に注意して作業している ・使用時のみ有機溶剤の缶を開栓し、使用後は直ちに閉栓。無駄な大気中への拡散を抑え、倒れて漏洩するリスクを低減 ・有機溶剤であるプライマーは施工上絶対に省けない工程であるが、その使用料を減らすため再施工等の不具合を減らす(品質向上) ・削減に向けた具体的な対策のために使用する有機溶剤の成分別数量把握を行っている ※別紙参照 ①メーカー毎に毎月購入したプライマー、並びに洗浄用トルエンの数量を把握 ②品番毎に含有される化学物質が異なるので、SDSを元に1缶当たりの含有量を計算 ③含有物質ごとに集計し、年間工事高との関連性を分析 ④今後の削減に向けた情報分析を行っている ⑤添付資料エクセルシートのセルとしては「AG84」以降の部分です	具体的な効果は不明です。 別紙資料参照 G※共有ドライブ※!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会※利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥21_日興社	
参加賞	(株)朝日工業社	排水レスフラッシング工法の採用	排水レスフラッシング工法採用によりSGP-(白)管に含まれる垂鉛メッキ排出量削減、フラッシング水再利用により空調配管水張仮給水削減  ①濁度で垂鉛濃度推定 特開2021-10894 ・繊維径が1.0 0 μm以下の繊維を圧縮、空隙率が8.6%～9.2%の繊維ろ材とした、フラッシング水処理用フィルタ。	ノッチタンク設置中止、仮設給水による水張作業の軽減が実施出来た。	建設廃棄物発生への抑制
参加賞	石井興業	①【リユース・リサイクル活動を通して資源循環プラットフォーム事業への参画】 ②【クールワークキャンペーンによる熱中症予防対策への取り組み】	①【リユース・リサイクル活動を通して資源循環プラットフォーム事業への参画】 ・弊社は2021年から継続的にお客様のSDGsに連動した再生エネルギー・雨水活用・グリーンウォールフォーメーションによる、省エネ活動を行っております。具体的には①不要になった事務用品や作業用品のマテリアリサイクル(クリアホルダー・クリアファイルのリサイクル・紙類の再利用)、②夏場の日射制御の為、植物育成による緑のカーテン(雨水利用)を行っています。さらには快適職場推進も兼ねた③省エネ&ウェルネスとして、昼休みの定期消灯、憩いの場所設置(空気清浄機付き)、また地域スポーツイベントにもSDGs企業作成の自社名入りTシャツを着用しての参加活動も行っています。 このような継続的なエコワーク取り組みにより、本年度は使用電力量7%減(年間)、(紙を主体とする)事務用紙使用量4%減、(年間)、水道利用料ゼロ、(井戸水・雨水利用)を達成しています。 (※①～④迄の活動取り組みに関する資料を別紙添付) ②【クールワークキャンペーンによる熱中症予防対策への取り組み】 ・毎年厳しくなる工事現場での暑さ対策と事務作業スペースでの暑さ対策の取り組みとして「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」を行っています。 主な活動内容は①空調服購入補助(50%以上)による作業員の着用率向上、②現場作業員及び内勤従業員の冷却高性能繊維利用のユニフォームの配布、体を冷やす着替え用のTシャツ配布、自社にて栽培した梅干しの配布(塩タブレット等より体に負担が少ないオーガニック食品)、等社内をあげての熱中症対策に取り組んでいます。 このような活動により、暑さで体調不良を訴える職員が少なくなり、作業員同士の健康管理啓蒙にも実行実績があったと考えています。	①継続的なエコワーク取り組みにより、本年度は使用電力量7%減(年間)、(紙を主体とする)事務用紙使用量4%減、(年間)、水道利用料ゼロ、(井戸水・雨水利用)を達成しています。 ②このような活動により、暑さで体調不良を訴える職員が少なくなり、作業員同士の健康管理啓蒙にも実行実績があったと考えています。(※活動取り組みに関する資料を別紙添付) 〃G※共有ドライブ※!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会※利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥23_石井興業.docx〃	気候変動対策・その他
参加賞	杉山建設	熱中症予防対策への取組	1、年々上昇する気温に対応できるように、パワーの強く、軽量のバッテリーを使用する空調服を導入。現場で作業をする全員(14名)に支給。 気温が上がり始める5月ごろから配布が出来るように配慮した。 2、夏場に汗をかくことで脱水症状を引き起こさないため、カロリー等配慮した「イオン水」を配布した。	空調服の導入により、使用しない時より汗をかく量が減り、脱水症状を予防することができた。 また、熱中症予防に対応することで意識の変化があり、作業員同士が声掛けを行い、こまめな休憩や水分補給を行う習慣ができてきている。	気候変動対策
参加賞	丸喜運輸(株)	①環境保全団体への寄付、②周辺地域の清掃活動	①継続的な活動になりますが各作業所様から排出された産業廃棄物を弊社の中間処理施設へ搬入した際、廃棄物500kg毎に5円を北海道環境財団へ寄付する活動を行っております。 ②2020年頃から弊社機材センター前の道路清掃を冬季期間を除く2回実施し地域の美化活動に積極的に取り組んでおります。	①04月～12月で111,476円の寄付を行いました。 ②4月～11月の活動で1400Lのゴミを回収しました。	気候変動対策・生物多様性
参加賞	開成鉄筋	人と地球に優しい環境づくり	代理人の車を全車ハイブリッドにした現場毎に車を相乗りさせている加工場を自家発電(太陽光発電)への切り替え	太陽光発電は屋上にあるため断熱効果があり電気利用量及びCO2排出量削減により、環境汚染への影響を抑え、節電にもつながっている。	気候変動対策
参加賞	サンクスコーポレーション	気候変動対策 環境整備	作業員の相乗り実施 暑さ対策 作業員全員の空調服着用 社員5名 2次協力業者全員着用への指導 事務所環境整備 花壇を作り夏場はゴーヤを育成 別添資料参照 写真あり G※共有ドライブ※!!!イノベーション推進統轄部¥200_環境ソリューション部¥600_日建連・利友会※利友会とのエンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥28_サンクスコーポレーション	熱中症による休業者ゼロ 花壇にて植物を育てることにより室内、空調の低減 気持ち豊かになる	気候変動対策・生物多様性
参加賞	中央電設名古屋	カーボンニュートラル実現に向けて、社有車(リース)をハイブリッド車へ切り替える	名古屋支店の社有車(契約リース車)ガソリン車から随時ハイブリッド車へ切り替える。 クリーンな地球環境への貢献とともに、CO2排出削減に貢献する。 5年契約リース車のため現状2027年にすべてハイブリッド車化にする	6台中4台をハイブリッド車化(66.6%)し、ガソリン消費量を減らした。	気候変動対策

選考結果	会社名	活動テーマ名	活動内容	活動効果・結果	活動種別
参加賞	(株)ヒロタ	資源ゴミの削減	パネル工事梱包材 ・木パレット→鉄パレットに変更 ・配達時に都度回収、再利用(現場ゴミを無くす) 下地材 ・承認図面より算出した寸法で事前にカットして出荷、 現場でのゴミ出しを極力減らす。	ゴミ出し量が以前の半分位で済む様になりました。	建設廃棄物発生の抑制
参加賞	(株)オクジュー	熱中症による体調不良の削減	作業員に空調服着用の推奨(自社製作作業服の空調服あり)		気候変動対策
参加賞	(株)AOI	エコアクションへの取り組みによる 地球温暖化防止(節電)への 貢献活動	①事務所内・屋外外灯の照明をLED化(2023年10月実施) LED化することにより電気使用量と電力を生み出す際に発生する 二酸化炭素の排出量の削減・電気代コストの削減を図る ②社員寮の節電対策 家電製品の買い替え及び改修工事の施工にあたり、地球環境に配慮した取り組みを実施	①活動効果(前年度比) 【事務所内】 *電気使用量:13%ダウン *電気代:36%ダウン 【屋外外灯】 *電気使用量:23%ダウン *電気代:43%ダウン ②活動効果 節電タイプの製品に買替えたことにより電気使用量の 削減に繋がった。 改修工事に際しては、環境に配慮したものを選択する など、地球環境に配慮した。	気候変動対策・その他
参加賞	三和シャッター	脱炭素社会へ向けた取り組み	2023年7月、三和シャッター工業の九州工場敷地内に太陽光発電設備を設置しました。 パネルの総面積は約7,000㎡で、2021年に設置した太田ドア工場と比較して約2倍の大きさであり、年間約460 トンの二酸化炭素排出量削減を見込んでおります。 (実績数値はまだ未確定です) 事務所においては、LED証明への切り替え、空調設備の更新に加えて、営業車のガソリン使用量の削減へ向 けたエコカーへの切り替えを積極的に実施しています。 参考までに、昨年の活動内容でご報告した太田ドア工場の実績ですが、2022年度では約280トンの二酸化炭 素排出量削減に貢献しました。 	約460トンの二酸化炭素排出量削減を見込んでおりま す。 別途資料参照 G*共有ドライブ*!!イノベーション推進統轄部¥200_環境 ソリューション部¥600_日建連・利友会¥■利友会とのエ ンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥34_住吉 工業	気候変動対策
参加賞	住吉工業株式会社	Co2削減を行い地球温暖化防 止に貢献する	2件(松屋、朝倉)の太陽光発電所による電力供給を行いCo2削減を行う。 松屋発電所 自社所有土地を公共残土処理場として残土を受け入れ造成し太陽光発電所を設置した。2016 年から発電開始し今年で8年間の電力供給となります。2023年の発電量は830,886Kwh 1Kwh/650gCo2削減 換算すると年間540tの削減となります。 朝倉発電所 福岡県朝倉郡筑前町に設置してある太陽光発電所を取得し電力供給を開始した。2017年から 発電開始今年で7年間の電力供給となります。2023年の発電量は769,915Kwh 1Kwh/650gCo2削減換算すると年間500tの削減となります。  松屋発電所 発電量 発電所全景 朝倉発電所 発電量 発電所全景	2023年度の太陽光発電量1,600,801Kwh 1Kwh/650gC o2削減換算すると年間1,040tのCo2削減出来ました。 別途資料参照 G*共有ドライブ*!!イノベーション推進統轄部¥200_環境 ソリューション部¥600_日建連・利友会¥■利友会とのエ ンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥34_住吉 工業	気候変動対策
参加賞	喜村鉄筋工業	スぺーサードーナツ	ペットボトルキャップを再利用した リサイクル原料の再生プラスチックを利用した スぺーサードーナツを使用し ている		建設廃棄物発生の抑制
参加賞	アオケン	脱炭素社会への取組	社屋屋上にソーラーパネルを設置した。また外壁を改裝するにあたり、塗料を遮熱タイプとし、断熱性能を高 めることとした。 	年間としてのデータとしてはまだはっきりとした集積がなく、又月々使用する電気量にばらつきがあるため凡そ ということになるが、電気使用量は概ね2- 3割の削減を果たしているものと思われる。	気候変動対策
参加賞	富士鋼材(株)広島支店	倉庫・事務所環境活動・材料 輸送に関する効率化	●鉄筋材料の広島倉庫在庫出荷について物件毎に運ぶのではなく納入先が同一、もしくは近場の場合は積 載重量・納期を勘案の上積み合せにて同一車両で納入するようにしている。 ●夏場は空調服・冬場は电热ベストを人数分購入・着用。 ●事務所の照明を従来の蛍光灯の物からLEDに変更。	●輸送に関しては積み合せによりCO2削減に貢献。稼 働台数も抑えられ経費削減になった。 ●倉庫に関しては厚さ・寒さ対策により、より活動的に 動けるようになり、安全対策にもつながった。 ●事務所の照明のLED化により電量消費が抑えられ 環境対策に貢献。	気候変動対策
参加賞	栗田建工	太陽光パネルによるCO2排出 量削減への取組み	昨年完成した新本社では工場棟の屋根に太陽光パネルを設置してCO2排出量の削減に取り組みしました。工 場の規模と設置した太陽光パネルは以下の通りです。 ①工場規模 事務所棟 S造2F建 延べ床面積 662.54㎡ 工場棟 S造1F建 延べ床面積 1,048.14㎡ 倉庫棟 S造1F建 延べ床面積 638.73㎡ ②設置した太陽光パネル シャープ太陽電池モジュール(NU-375KG) 1,755mm×1,038mm×40mm 120枚(218.6㎡) 	2023年3月～2024年2月までの間で総使用量の32%に あたる33,164kwhが太陽光パネルによって供給され、約 18.3tのCO2を削減することが出来ました。また費用面 でも夜間の売電も含めて年間約130万円の電気料金を 削減することが出来ました。 別途資料参照 G*共有ドライブ*!!イノベーション推進統轄部¥200_環境 ソリューション部¥600_日建連・利友会¥■利友会とのエ ンゲージメント¥101_2023年度¥03_応募作品 ¥38_栗田 建工	気候変動対策
参加賞	株式会社 小島工務店		①該当しない ②該当しない ③営業車 2台がハイブリッド車 ④一部相乗り(一人作業が多い。居住地が離れている。) ⑤該当しない ⑥社員へ配布。協力会社へは推奨。 ⑦メーカーにて対応 ⑧該当しない ⑨該当しない ⑩していない(倉庫では燃料式) 36協定について、2次協力会社へは、指導。現状は、一人親方及び、一人親方集団で36協定なし。	ハイブリッド車の燃費は、ノーマルエンジン車に比べほ ぼ半分に改善した。	建設廃棄物発生の抑制
参加賞	池本工業(株)	暑さ対策で空調服を購入して 作業員が着用した。	2022年の夏に空調服を購入(30人分)し自社(1次)作業員(左官工)・2次作業員(土間工)に支給。 熱中症対策を採った。2022・2023夏季は熱中症を発症する作業員はいなかった。多少の気分が悪いなどの症 状を示した者がいたとの報告・連絡を受けたが、大事にはならなかった。今年(2024)も継続の予定です。 元請・組と自社の熱中症対策は、塩飴、冷水器、冷蔵庫の設置など「対症療法」が主体となっている。今後は、 「原因療法」を取り込んだ対策を採っていきたいと考えます。 熱中症発症は、個人の生活習慣による要因もあり対策を探りにくいところがあります。環境省熱中症予防情報 サイトで示してある「熱中症リスクカレンダー」から「予報」を発令し、個人はスマートウォッチ+センサーを装着 し、「熱中症リスクアプリ」で個人に知らせるような仕組みがあれば「原因療法」になりそうと考えます。	昨年に引き続き、今年(2024)も継続予定です。	気候変動対策

選考結果	会社名	活動テーマ名	活動内容	活動効果・結果	活動種別												
参加賞	(株)トーヨーアサノ	熱中症対策5月～9月(職種:既製杭 杭工事)	□ 活動内容 1)生活指導(送り出し時含む)睡眠不足にならぬ様 ・深酒せぬ様 ・朝食を抜かず様→食欲が無い際は、カロリーメイト・ゼリーなど摂取、下着の着替えのこと(昼休み時、帰宅時)→発汗の下着で冷えた話所などに入室すると体調不良防止策 2)空調服・そう快君(商品名)を購入し作業員に配布、着用義務を指示した。(前年同様)→2着/名(バッテリー込み) ・そう快くん(後頭部位日よけ) 1個/名 3)OS-1(飲む点滴 経口飲料500ml/ペットボトル)作業所毎に配布 24本/箱×30箱→作業所により稼働日数など、かなり異なります。稼働が短い際は、各自にて購入して頂き、以後精算の対応をした。 4)防暑グッズを各自購入→作業所にて設備など差異があり異なりました。 作業員(各自)の必要防暑品に差異があり、購入品は精算にて対応をした。 (ネッククーラー、空調服用のバッテリー容量アップ 器など) 5)お互い声掛けチェック 容態がおかしいなど様子を見るのでなく→事象を元請けに報告する。元請けの認識理解度もあり即刻病院へ連れて行く	作業員の年々熱中症に対する重篤性の把握と、若手作業員から熟年作業員迄浸透した。 「命ある行動」と最悪の事象になると皆が認識し、2023年度は「熱中症ゼロ」を達成した。 別途資料参照 G※共有ドライブ※!!!イノベーション推進統轄部¥200.環境ソリューション部¥600.日建連・利友会※■利友会とのエンゲージメント¥101.2023年度¥03.応募作品 ¥41.トーヨーアサノ	気候変動対策												
参加賞	村田建設(株)	通勤車両の効率化	宿舍から現場までの通勤時間が20～30分掛かる為、宿舍の近い人同士で車を相乗りで通勤し、CO2・排気ガスの削減に努めた	2023年1月～10月までの10ヶ月間 6台使用するところを2台に削減、ガソリン代も半分以上に減少し、地球温暖化にも貢献した。	気候変動対策												
参加賞	(株)クリマテック	資源と環境に配慮した品質試験の取組	当現場では排水管の試験方法を満水試験ではなく満空試験を採用した。水を一切使用することなく空圧による試験を実施。 満水試験を採用した場合、当現場規模で約34t以上の水が必要となり、水資源を無駄にすることになる。 また、試験で使用した水を排水する為の排水処理用仮設配管が必要だが満空試験では不要で無駄な材料が掛からず仮設配管撤去時の産業廃棄物が出ない。 このことから、満空試験は無駄な資源を削減し環境に優しくCO2削減の効果も期待できる	満空試験を採用している現場が少ないので他現場への積極的な展開を図り、元請けやデベロッパーの信頼・理解を深める。	気候変動対策 建設廃棄物発生の抑制												
参加賞	トータル建装	省エネ	事務所の電気をこまめに消す 夜間・休日のパソコン・プリンターの主電源を停止 会社の屋根を遮熱塗料にして光熱費の削減	電気代の節約になった	気候変動対策												
参加賞	アイカテックエンジニアリング	暑さ対策で空調服購入	近年、温暖化現象により気温が5月ころより上がっており、対策として各社員に「空調服」を購入し着用させています。 工事部4人全て着用させています。	現場では体調が悪くなる事が無くなりました。	気候変動対策												
参加賞	(株)千田工業	弊社工場で使用するフォークリフトをディーゼル車からバッテリー車への転換	今回提出の活動事例は『弊社工場で使用するフォークリフトをディーゼル車からバッテリー車へ転換』です。 ディーゼル車からバッテリー車へ転換する事で①ランニングコストの削減、②作業環境の改善を目標として活動させて頂きました。 ①年間ランニングコストについて <table><tr><th></th><th>燃料代金</th><th>消耗品コスト</th><th>年間平均ランニングコスト</th></tr><tr><td>FB25(バッテリー車)/台</td><td>83,209 円</td><td>92,900 円</td><td>176,109 円</td></tr><tr><td>FD25(ディーゼル車)/台</td><td>114,005 円</td><td>67,500 円</td><td>181,505 円</td></tr></table> ・燃料代金は1ヶ月の稼働日数、1日当りの稼働時間、燃費などから算出しています。 ・消耗品コストは使用期間の消耗品、修理費の実績、予測値の平均数値にて算出しています ランニングコストについては上記の金額となり 5,400円程度バッテリー車の方が優位になります。 但し消耗品コストではバッテリー 交換費は含んでいます但し故障(修理)は含んでおらず、実際には修理無く稼働する事は現実的ではありません。バッテリー車の場合は構成する部品が高額な為に一度壊れると高額な費用が必要となり年間コストの差額を鑑みますと実際にはバッテリー車の方がランニングコストが高くなると推測致します。また車両に対する資産価値もディーゼル車の方が高く推移している事や低速から力強くコントロールし易い作業性等を考えると総合的にディーゼル車の方が良いと考えられます しかし昨今の環境問題を考えると環境性能についてはバッテリー車は無公害な為に本車両の勝るものはありません。騒音問題、排気ガスに含まれる浮遊粒子状物質による健康への悪影響を考えるとバッテリー車への転換が急務と考えられます。順次、ディーゼル車をバッテリー車へ転換し、騒音減少とCO2排出削減に努めて参ります。		燃料代金	消耗品コスト	年間平均ランニングコスト	FB25(バッテリー車)/台	83,209 円	92,900 円	176,109 円	FD25(ディーゼル車)/台	114,005 円	67,500 円	181,505 円	ディーゼル車をバッテリー車へ転換した結果、工場内又は作業場でのディーゼル車による騒音減少と排出ガスによる不快感が明らかに減少した結果、作業環境の改善は勿論、それらを気にする事なく作業に打ち込め作業性のUPにも繋がりました。騒音減少とCO2排出量削減に効果がありました。	気候変動対策
	燃料代金	消耗品コスト	年間平均ランニングコスト														
FB25(バッテリー車)/台	83,209 円	92,900 円	176,109 円														
FD25(ディーゼル車)/台	114,005 円	67,500 円	181,505 円														
参加賞	銅谷建設株式会社	環境に配慮した施工への取り組み	1.熱中症対策として、弊社所属の職人さんへの空調服バッテリーの購入・配布を行いました。(空調服は前年購入したものを再使用) 2.弊社型枠加工場での型枠加工時に発生する端材(コンパネ・桟木)PPバンドの分別を実施しております。 3.現場で型枠転用率を上げるよう打設順序の検討、大型型枠パネルの使用、システム型枠の使用を検討会等で元請へ提案・実施しました。 4.弊社事務所で、エコマーク表示の事務用品を購入・使用(バインダー・事務文具用品等) 5.毎朝、弊社事務所周辺の道路清掃を行っています。 6.現場までの通勤車両を単独通勤から乗り合い通勤にして、車両のCO2排出量を削減しました。 7.みちのくEMS(中小企業を対象とした地域版環境マネジメントシステム)への取り組みを2010年3月29日に認証を受けて以来、継続して行っております。	・みちのくEMSの取り組みで、環境方針を元に環境目標を定めて、社内・現場共に活動を継続して行い、電気消費量の削減、騒音振動の苦情0件、社外の社会貢献活動への年5回参加等、達成しております。 ・2022年空調服16着・2023年空調服バッテリー21セットを職人さんへ配布し、同年とも弊社職人さんの熱中症災害0件達成しております。	気候変動対策												
参加賞	松尾金属(株)	環境保全を意識した取り組み	※今回が初めての活動報告となり、どのような活動内容が適しているのかが分からなかったため、とりあえず募集スケジュール期間(2023年1月～2023年12月)での取り組みではないが、過去に社内で環境保全を意識した取り組みを記載させて頂きます。 1.太陽光パネルの設置 2013年頃～ 10kw 2.事務所の照明器具をLED対応型に変更 3.現場への通勤車両低減 当社に集合ののち社用車へ乗合いを行い通勤車両の低減、Co2排出量の低減	※時間の都合、具体的な効果・結果は未検証です	気候変動対策												
参加賞	ナカ工業(株)	脱炭素化	社有車(リース含む)をガソリン車からハイブリッド車に変える 現在東日本工務部では社有車24台中16台を交換済み 以後車検時、リース契約満了時にハイブリッド車に交換予定です。	目には見えませんがガソリン代が約50%削減しておりそれに比例し二酸化炭素の排出量も減少していると思われます。	気候変動対策												
参加賞	エース技建株式会社	消耗コストの管理・低減	① 営業車はハイブリッド車使用 ② 事務所照明はLFDへ交換済 ③ 暑さ対策において空調服(半袖・長袖)を社員・協力会作業員への配布・使用 ④ 作業所への移動は公共交通機関での移動 ⑤ 事務所空調温度設定の管理	・ガソリン使用量・費用の低減 ・電気代低減	気候変動対策												
参加賞	イワキ産業	環境対策	<活動内容> 熱中症対策とし、現場代理人及び作業員に空調服を支給とした。 25着分。	熱中症災害の報告はありませんでした。	気候変動対策												
参加賞	(株)前田産業	①空調服を着用し、作業効率アップ ②アドブルー使用により有害物質の大気への排出を減少	①空調服を着用し、作業効率を上げる(継続的な取り組み) 空調服を着用すると涼しくなるので、熱中症を予防できると共に、作業効率の向上につながっている。 空調服着用で、体力が温存できるので、連続作業が可能となっている。又、夏場の嫌な臭いの原因の多くは汗で雑菌が繁殖してしまうのを防ぎ、服の中を常に換気してくれるので、雑菌の繁殖を抑え衛生的である。 ②アドブルー使用により有害物質の大気への排出を減少 解体現場で使用する重機の燃料は軽油を使用。 ディーゼルエンジン車の排気ガスをきれいにするためにアドブルーを使用することで、地球環境に有害とされる窒素酸化物を分解し、大気への排気を減少させている。	①12着新規購入 ②重機新規導入													
参加賞	石井硝子(株)		・事務所内の照明を昼休憩中は消灯し消費電力の削減を行った。 ・遠方現場の現地宿泊による作業を積極的に勤め、通勤車両の走行距離時間を減らした。作業員の負担軽減効果もありました。	・照明用電力を10%程度削減	気候変動対策												

選考結果	会社名	活動テーマ名	活動内容	活動効果・結果	活動種別
参加賞	(株)エフ・ケー	二酸化炭素の排出削減	社有車2台をガソリン車からハイブリッド車に乗り替えました。	ガソリン車に比べCO2排出量24%削減 燃料の低減	その他
参加賞	村田建設(株)	廃棄物削減	プラスチックや紙、缶などを適切に分別してリサイクルに回すことで、廃棄物の削減。 エコバッグやマイボトルの活用、プラスチックストローの代わりに再利用可能なストローを使用するなどの 取組によって、プラスチック使用を減らす	適切に分別してリサイクルに回すことで、廃棄物の削減 する事が出来た	建設廃棄物発生 の抑制
参加賞	村田建設(株)	現場通勤車ハイブリット車の導入について	弊社管理の現場通勤車をガソリン車からハイブリット車へと順次更新しております。 今後は、会社の全車両の燃料使用量を集計し、CO2排出量削減効果を数値化、見える化していきます。	月単位(22日)で 15.9リットルの燃料使用量に変化があった。	その他
参加賞	村田建設(株)	現場快適トイレの設置について	数年前から各発注者案件で実施されている 快適トイレの設置について 今回も現場に設置した。工事現場の仮設トイレは、[汚い・臭い]という イメージがあるが、作業員はともかく、一般の方が 使用しても恥ずかしい位の日々の清掃を行い、現場環境の快適化を図った。	今回 現場には女性作業員が1名居たが、使いやすかった と声をもらいました。	その他